

第五十回帝國議會
衆議院

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案(柏田忠一君
外一名提出)

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)
法律案(政府提出)
案(牧山耕藏君外十三名提出)

委員會議錄第五回

會議

大正十四年三月二十日(金曜日)午後二時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 萬逸君

理事 來栖 七郎君

橋本 喜造君 神田 正雄君

永田善三郎君 金光 庸夫君

長峰 與一君 山口 政二君

佐々木平次郎君

同月十二日委員長長峰與一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ東郷實君ヲ今二十日委員

柏田忠一君東郷實君來栖七郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ金光庸夫君長峰與一

君高木音藏君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

同月十二日拓殖省設置ニ關スル建議案(牧山耕藏君外十三名提出)ノ審査ヲ本

委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

外務參與官 永井柳太郎君

外務省條約局長 山川 端夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

賠償金特別會計法廢止法律案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ開會致シマス、會議ニ付スベキ議案ハ、同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ救恤ニ關スル法律案、政府提出、先ヅ此案ヲ議題ト致シマス、御意見ハ別ニアリマセヌカ

質問ガアルナラバ簡潔ニ願フテ、ソレバ直グニ討論ニ入リマス

○佐々木委員 今ノハ救恤案ダケデアリマス

○田中委員長 此審議ヲ進行スル爲ニ救恤案ダケヲ議題ニ供シテ居リマス

○永田委員 質疑ガアリマセヌデシタラ、直ニ討論ニ移ッテ戴キタイと思ヒマス

○橋本委員 此前ニ私ハ戰爭ニ因ッテ撃沈セラレタル船舶ニ對シテ賠償ヲシタ例ガナイト云フコトヲ政府當局カラ申サレマシタカラ、私ハ實例ヲ舉ゲテ御尋致シマシタガ、ソレニ對シテ御回答ガナイヤウデゴザイマスカラ、其回答ヲ希望致シマス

○山川政府委員 此前申上ゲマシタ通りニ、日本ノ例カラ見マシテモ、戰爭ニ因ッテ戰闘ノ結果沈没シタモノニ對シテ賠償ヲ與ヘタモノハアリマセヌ、日清日露ノ戰爭ニ於キマシテモ其通りデアリマス、唯、賠償致シタノハ政府ガ特

ニ備上ゲタ、或ハ特別ノ關係ヲ特ツテ居ルモノニ對シテハ無論賠償シタ例ハアリマス、此前橋本君ノ御話ニナリマシタ南嶋間作ノ船ト云フノハ、奈古浦丸ノ話ト承知シテ居リマスガ、其奈古浦丸ハ戰爭ノ始マル當時ニ陸軍デ御用船ニ備上ゲルト云フ内約ヲ致シマシテ、サウシテ宇品ヘ回航中ニ露西亞ノ艦ガ來テ日本海ノ北ノ沿岸デ撃沈サレタト云フノデアリマシテ、是ハ多年ノ懸案デアリマスガ、最後ニ陸軍ノ方デハ備上ゲルト云フ内約ヲシテ居ッタノデアルカラ、陸軍用船トシテ徵用セラルベキ準備行爲、即チ指定港ニ回航ノ途中デアルカラト云フコトデ、陸軍カラ相當ノ金ヲ出シタヤウデアリマス、其外ニ日露戰爭ノ當時ニ敵艦カラ撃沈セラレタモノハ三十餘隻ニナッテ居リマスガ、何レモ賠償ト云フヤウナ事實ハアリマセヌ

○橋本委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ハ違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、露國カラ賠償金ヲ取ツテ、ソレヲ之ニ充テ、居ルヤウニ思ヒマスガ

○山川政府委員 私ハ極ク正確ナル事實ニ付テ申上ゲタノデアリマス、露西亞カラ賠償金ヲ取ツタコトハアリマセヌ、奈古浦丸ニ對シテ陸軍ガ金ヲ與ヘマシタノハ、ズット後ノ話デアリマス、

大正九年十月十日ニ陸軍ノ方デ船主ニ對シテ、今申上ゲタヤウナ理由ニ依リマシテ、或ル程度ノ金ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、露國カラ賠償金ヲ取ツタコトハ絕對ニアリマセヌ、何カ橋本君ノ御話ハ少シ御考違デハナイカと思ヒマス

○橋本委員 ソレデハ只今ノ奈古浦丸ノ賠償金ニ付テハ、モウ一度取調ベテ次ノ機會ニ御尋致シマス、其次ハ政府ノ戰時保險ノ附イテ居ル船ハ至ッテ少數デ、殆ド無イカモ知レマセヌ、唯、日本郵船ノ八阪丸ノミデハナイカと思ヒマス、其他ニアレバ其船名ト保險金額ヲ御示シテ願ヒタイ

○山川政府委員 大分細カナ御質問デアリマスガ、政府ノ調査ニ依ルト、此前申上ゲタヤウニ四千七百萬圓ニナッテ居リマス、是ハ勿論一隻デアリマセヌ、多クノ船ニ付テノ調査デアリマセヌ、其中ニ保險金ヲ全然附シナカッタモノモアリマスガ、是ハ極ク少數デアリマス、政府デ保險ヲ負擔シタト云フヤウナ問題ハ細カナ點デアリマスガ、今一寸ハッキリ致シマセヌガ……

○橋本委員 四千七百萬圓ノ保險金ハ、個人船主デ外國ノ保險會社ト契約シタモノモ這入ッテ居ルト思ヒマスガ、ソレニ相違アリマセヌカ

○山川政府委員 今ノ計數ハ船主ガ保險ヲ附ケテ、サウシテ保險金ヲ受取ツタ額全體デアリマス、併セテ申シタ次第デアリマス

○橋本委員 日本政府ノ負擔ト外國保險會社ノ負擔ヲ各別ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○山川政府委員 何レ後デ調べテ差上ゲマセウ

○橋本委員 船舶ノ損害ニ對シテハ、明ニ潛航艇ニヤラレ、或ハ其外ノモノモアリマセウガ、或ハ沈没シ、或ハ失踪ノ原因ノ分ラヌ船ガ大分アリマスガ、ソレ等ノモノ、損害要求書ハ外務省ニ行ッテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレ等ノモノニ對シテハ政府ハドウ云フ御考デアリマスカ、是モ戰時船舶ノ損害トシテ幾ラカ救助ニナル御意思デアリマセウカ

○山川政府委員 其救助ノ問題ハ對獨講和條約第八編第一款ニアリマス、第一附屬書中ニ掲ゲテアル項目ニ當ルモノニ救恤金ヲ與ヘルノデアリマス、各船舶ナリ個人ノ損害トシテ此前申出テアリマスガ、此法律案ガ御協賛ヲ得テ愈、之ヲ實行スルコトニナルト、政府ノ考デハ更ニ外務省令等ニ於テ此法律ノ規定ニ當ル損害ヲ受ケタ人カラ見積書ヲ出サセテ、ソレヲ審査會ニ於テ慎重公正ニ論ジテ此問題ヲ決メヤウト思ヒマス、此際各個ノ船ニ付テ意見ヲ申述ベシノハ少シ早ヤ過ギルヤウニ思ヒマス

○橋本委員 此損害ヲ受ケタ船舶ノ申ニハ農商務省ノ船舶モアッタト思ヒマス、他ニ貸付ケタ其船舶ガ損害ヲ受ケタ、ソレニ對スル救恤金ハ農商務省ニ直接オヤリニナルノデアルカ、或ハ借リタ船主ニ御渡シニナルカ、是ハ參考或ハ後日ノ證據トモナリマスカラ、成ベク間違ノナイヤウニ願ヒマス

○山川政府委員 ソレニ付テハ段々申上ゲタヤウニ、此法律ガ成立シタ上ニ個人ヨリノ申出ヲ取リマシテ、ソレヲ審査委員會デ慎重ニ且公正ニ調査シタ上デ決メタイト思ヒマス、此處デ今是ガ救恤ニ當ラストカ申上ゲルコトハ少シ早イト思フ、ソレデ當局ハ之ニ掲ゲテアル通り對獨講和條約ニ當ルモノトシテ、ソレニ入ルカ入ラヌカト云フコトモ審査會デ能ク決メタイト云フ考デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○橋本委員 此委員會ニ於テ御答ヲ受ケタコトハ、非公式デモアリマセズ、個人トシテデモナク、政府ノ考トシテ聞クノデアルカラ、政府委員ニ於テモ左様御承知ヲ願ヒタイト思フ、私ハ或ハ或ル方カラ個人ノ被害者ニ對スルモノ、此際之ヲ決メテ戴イテ救恤金ヲ貰ヒタイト云フコトヲ言ッテ居ル人ガアリマス、ソレデドノ位貰ヘルカ、五千圓カラ二萬圓ト云フコトニ聞イテ居ルガサウデアルカ、ドウカ聞イテ下サイト云ッテ私ハ頼マレマシタガ、之ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタイ

○山川政府委員 之ニ就テモ先程申上ゲタコトヲ繰返ス外ハアリマセズ、各個人ニ付テノ損害賠償ト申シマスカ、救恤ヲ幾ラヤルカト云フコトニ付テハ、十分調査シテ審査會デ決定シタ上デ申上タイト思フ、今政府ノ意見ハ各個人ニドレダケヤルト云フコトハ決定シテ居リマセズ、十分調べタ上デ決メタイ又其決メ方モ色ミアリマセウシ、大分困難ト思ヒマスガ、極ク公平ニ決メタイト思ヒマス

○橋本委員 政府ニ於テモ御承知デアリマセウガ、個人ノ被害者等ハ或ハ公式ニ或ハ非公式ニ各々勝手ナコトヲ被害者ハ申シテ居ルヤウニ思ヒマス、私ガ昨日會ツタ所ノ個人ノ被害者デアリマスガ、此方ハ假令此法律ガ定ッテモ、私共ニハ百五十圓ガ二百圓シカヤラナイ、多クテモ五百圓位デアアル、ドウシテモ計算スレバサウナル、又是迄ノ質問應答ニ依ッテ見テモサウナルガ、百圓カラ五百圓位ノ金ヲ貰ッテモ何モナラヌ、サウ云フコトデアレバ此法律ハ通過サセヌヤウニシテ戴キタイト言ッタガ、ソレナ事ハ出來ルモノデハナイ、ソレハイカヌガ、兎ニ角政府ハ一人ニ對シテドノ位ヤルノデアルカ、既ニ決ッテ居ルヤウデアアルガ、五百萬圓ヲ基礎トシテヤルナラバ、凡ソドノ位ノ勘定ニナルカヲ聞イテ上ゲヤウト言ッテ置キマシタガ、ドウカソレニ對シテ公式ニ言ハレナイナラバ、速記ヲ止メテデモ宜シイ

カラ、山川サンダケノ御考ヲ伺ヒタイ
○山川政府委員 是ハ公式ニモ非公式ニモ只今申上ゲタ通りノ事ヲ繰返スヨリ仕方ガアリマセズ、只今申上ゲマシタ個人損害ガ二億一千トカ、或ハ之ヲ幾ラトカ云フコトヲ申シマシタノハ、從來大體ノ申出ニ依ッテ、申出額ガ大體此位ニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデ、之ヲ實施スル時ニハ、更ニ此法律ノ規定ニ當リマス損害ヲ受ケタ個人カラ損害額ノ見積ヲ取リマシテ、サウシテ漏ナク取ッテ、ソレニ付テ審査シテ行キタイト思ヒマス、今ノ所デハ大體ノ見當ハ付イテ居リマスケレドモ、未ダ正式ニ申シマス、或ハ個人ノ方デ此條項ニ當ルモノデモ申出ガナカッタモノガアルカ知レナイカラ、段々調べテ行クトサウ云フノモアルヤウデアリマス、大正九年五月外務省令デ出シテ個人ノ申出ヲ取ッテ居リマスケレドモ、ソレ以外ニ落チタモノモアルヤウニ思ハレマス、ソレデ未ダ總額モハッキリシタコトハ、大體ノ見積ダケデモ決ッテ居ラナイ、況ヤ之ニ就テドウ云フ風ニスルカ、其内容ヲ申シマスコトハ出來ナイガ、審査ヲ加ヘマシタ上デ、ソレデ損害ノ總額ガ決スル、ソレニ對シテ五百萬圓ヲ割振ルト云フコトニナルノデアリマス、今此際各個人ニドノ位ノ見當デ金ヲヤルト云フコトハ、今迄ノ見積ガ大體ノ見當以外ニハハッキリ申上ゲルコトハ出來ナイ、左様御承知ヲ願ヒ

○橋本委員 賠償金問題デアリマスカ

ラ、尼港ノ遭難モ矢張之ニ入ッテ居ルヤ
 ウナ考ヲ以テ段々御尋シテ參リマス
 ガ、入ッテナイト云フコトデアリマス
 ガ、併ナガラソレハ入ッテ居ルト思ヒマ
 ス、私ガ會ッタ人ハ二三年前ニ私共ハ千
 圓ノ公債證書ヲ戴キマシタ、併ナガラ
 其千圓ト云フモノハ賣リマシタ、賣ッ

害、ソレニ對スル救恤ヲスルト云フダケノ趣意デアリマス

○橋本委員 是ハ簡單デスカラ其處デ御分リニナラウト思ヒマスガ、日本政府ノ戰時保險ニ該當シテ保險金ヲ拂フテ居ル船舶ノ數ト金額ハ御分リト思ヒマスカラ、取調ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山川政府委員 是ハ後デ調ベテ申上グマス

國ガ斯ウ云フヤウニシテ居ルカラ、日本デモ斯ウ云フ處置ヲ取ルト云フコトハ申上ダナカッタノデアリマス、唯、此委員會ニ於テ外國ノ例ハドウナツテ居ルカト云フ御質問ガアリマシタカラ、外國ノ例ハ斯ウ云フ譯ダト云フコトヲ大體御話致シタト承知シテ居リマス、度々説明致ス通り對獨條約ニ於テ賠償金ヲ取リマシタノハ、國ト國トノ關係

ウナ狀態ニナリテ居リマスカラ、是ハ例
 外ト致シマス、日本ト同様ナ計數ニ於
 テ、船舶ヲ矢張普通一般ノ備船トシテ
 外國人ニ貸シ、或ハ交戰國ノ政府ニ貸
 シテ居ル中ニ、不幸ニシテ撃沈セラレ
 タ船ガ大分アリマス、ソレハ主ニ伊太
 利デアリマスガ、伊太利政府ハ左様ナ
 船舶ニ對シテドウ云フ處置ヲ取ラレタ
 カ、是モ一ツ御伺致シタウゴザイマス、

所ガ安イ時ニ賣ツタ者ハ六百五十圓デ
高イ時ニ賣ツタ者ハ八百五十圓マデ賣
タ人ガアリマス、併ナガラ是デ終ルト
云フコトハ思ハナカッタ、ソレデ更ニ追
加ノ救恤ヲ願ツテ居ルノデアルガ、ソレ
ニ對シテ青島ト云フモノト同様ニ、此
調査委員會カラ是ニハ少シ餘計出シテ

○橋本委員　能ク政府委員ハ外國ノ事ヲ例ニ御引キニナリマシテ、外國デハ斯ウ云フ風ニナツテ居ル、ソレダカラ日本モ斯ウ云フ風ニシナケレバナラヌト云フ御話ガ度ニアリマスガ、私ハ船舶ノ損害ニ對シテハ、ドウシテモ外國デヤッタコトハ政府委員ノ御話ニナルコ

デ、個人が勝手ニ取ツタノデハナイ、ソ
レヲ今度取ツタ國デ如何ニ處置スルカ
ト云フコトニ付テハ、全然其國ノ國內
法デ自由ニ決メ得ルノデアリマス、ソ
レデ日本ハ斯ウ云フ風ニシタ方が最モ
適當デアルト思ッテ案ヲ提出シタ次第
デアリマスト云フコトヲ度々申上ゲタ

ソレカラ瑞典ト諸威ノ二國ハ中立デア
リマシテ、全ク戰爭ニ關係ガナカッタ、
サウシテ戰爭中ニハ一番危險ナル場所
ニ接近シテ居リマシテ、多數船舶ガ撃
沈サレテ居リマス、之ニ對シテ瑞典若
クハ諸威政府ハドウ云フ處置ヲ取ッタ
ノデアリマスカ

賞ヒタイ、今回ノモノニドウシテモ入ッ
 テ居ルヤウ思フカラ御調ヲ願ヒタイ、
 若シ入ッテ居ラナケレバ政府ハドウ云
 フ考デアルカ、ソレモ聞イテ呉レト云
 フコトデアッタ、ソレデ私ハソレハ別間
 題デアルカラ知ラヌト言ッタガ、ドウシ
 テモ聞イテ貰ヒタイト云フコトデアッ

ト、違ッテ居ルヤウニ思フ、ドウモ疑ガ
解ケナイ、ソレデ日獨戦争ガ始ッテ以來
佛蘭西政府ハ個人船主ニ對シテドウ云
フヤウナ處置ヲ取ッテ居ルカ、即チ傭船
ノ形式デヤッテ居ルカ、或ハ政府ガ船舶
管理局ヲ拵ヘテ、是デ管理ヲシテ居ル
モノデアルカ斯様ナ損害ヲ受ケタ船舶

積リデアリマス、決シテ外國ノ例ニ倣^ヌテ斯ウシタト云フコトハ申上ゲモシナイシ、又此案ヲ提出シタ理由デモアリマセヌ、ソコハドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレデ佛蘭西ノ戰費ニ對スル關係等ハ今詳シイ調ヲ持ッテ居リマセヌ、若シ必要デアリマスレバ早速調

○山川政府委員　只今ノ細カナ調査等
ハ何レ調べマシタ上デアト申上ゲマ
ス
○橋本委員　今日御尋致シマシテモ、
何レ調べテアトデ説明スルト云フコト
デアリマスカラ、――マダ大分御尋シ
ナケレバナラヌ事ガアリマスガ、御都

タカラ、此機會ニ伺ヒタイト思ヒマス
○山川政府委員　尼港事件ノ事ハ此間
題ニハ全然關係ガアリマセス、是ニハ
入ッテ居リマセス、是ハ又別問題トシテ
政府トシテハ考慮ハシテ居リマスガ、
此問題ハ對獨講和條約ノ規定ニ當ルモ
ト、ソレカラ歐洲戰爭ノ時ニ獨逸若

ニ對シテハ、政府ハドウ云フ風ニシテ
居ルカ、此邊ハ政府當局ハ十分御調ニ
ナツテ居ルコト、思ヒマスガ、サウ云フ
コトニナツテ居ルガ、始終外國ノ例ヲ引
カレルヤウデアルカラ、佛蘭西ノミノ
御調ヲ御願致シマス

○山川政府委員 申上ゲヤウガ惡カッ

ベテ後デ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、ソレカラ賠償金ヲ船舶ニ如何ニ分配スルカト云フコトニ付テモ、大體ノ事ハ分リマスガ、細カナ事ハ調ヲ持ッテ居リマセヌ、又佛蘭西ノ色々ナ法令モアリマスカラ、必要ナレバ後デ調ベマシタ上デ申上ゲテ差支アリマセヌ

合デ本日ハ此程度ニ於テ質問ヲ御止メ
下スツタラ如何デアリマセウカ
○佐々木委員 西伯利事變並政變ニ依
ツテ受ケマシタ損害ヲ戰時ノ損害ト御
認メニナルノデアリマセウカ、即チ露
西亞ト日本トハ別ニ戰爭ヲシタ譯デハ
アリマセヌガ、アレハドウ云フ風ニ爲

クハ獨逸ノ占領地、或ハ所屬地、サウ云フ所カラ引揚ゲタト云フ爲ニ生ジタ捐

タノカ申上ゲタノト違ッタ事實ガアリ
マスカラ、ソレダケヲ訂正致シマス、外

○橋本委員 佛蘭西ト獨逸ハ當ノ敵デ
アリマシテ、全ク國家ヲ擧ゲテ戰ツヤ

サルノデアリマセウカ
○山川政府委員 西伯利事變ハ日本

トシテハ一種ノ事變デアッテ、西伯利ニ出兵ハ致シマシタガ、露西亞ト戦争ヲシタノデモナイシ、又對獨條約ノ關係トハ全然別問題トシテ取扱ッテ居リマス、サウ認メテ居リマス

○佐々木委員 今ノ御答ニ依レバ、例ヘバ露國ノ政變ノ爲ニ直接日本人ガ被害ヲ被ッタル云フ事實ガアルト致セバ、從來戦争ニ因ッテ、即チ國策ノ犠牲ニナツテ被害ヲ受ケタ者ト同様ニ御取扱ヲ爲サルノデアリマセウカ、其點ヲモウ一度……

○山川政府委員 西伯利事變等ニ付テハ既ニ救恤ト云フ方針ヲ決シマシテ、政府トシテハ救恤ヲ致シテ居ルノデアリマス、幾ラデアリマシタカ一寸記憶致シマセウガ、必要ナル程度ノ救恤ダケハ既ニ致シタノデアリマス

○佐々木委員 私人ノ御尋致シマシタ趣旨ハ救恤デナクシテ、日本政府ヨリ損害ヲ要求スル、日本政府ヲ經テ露西亞ニ賠償ヲ迫ルカドウカト云フ場合ヲ考ヘテ申上ゲタルデアリマス、此間ノ御答ニ依ルト戦争中ノ場合ハ賠償等ハ與ヘモシナイシ、要求モシナイ、併シ戦争ニ非ザル事變デアリマスカラ、之ニ對シテハ、若シ事實露國ノ政變ノ爲ニ直接日本人ガ被害ヲ受ケタ者ガアル、サウ云フ場合ニハ被害ヲ受ケタ邦人ヨリ政府ニ御願ヲ致シマスレバ、適當ト認メタ者ニ限ッテ矢張賠償ヲ露國ニ交渉シテ下サル御考デアリマスカ

○山川政府委員 西伯利事變ノ際ニ西伯利デ一種ノ損害ヲ被ッタル云フ者ニ對シテ如何ニスルカト云フ御質問デアリマスガ、帝國臣民ノ損害等ニ付テハ、實ハ日露條約締結ノ際ニ於テモ、或ル程度マデ露國ト話ヲ致シタルデアリマスガ、之ニ對シテハ露國ノ方デモ日本ニ對シテ反對ニ請求權ヲ持出シタル云フ事實モアリマス、是ハ日本バカリデハアリマセウ、例ヘバズット前「ジュネーヴ」デ列國ガ會議ヲ開イタ時ニ、列國カラ露國ニ對シテ請求權、債權等ヲ持出シタル、露國モ亦持出シテ、自分ハ列國ヨリモ何倍ト云フヤウナ請求權ヲ債權ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ主張シタ事ガアルノデアリマス、ソレデハ露條約ノ規定トシテハ、サウ云フ問題ハ將來ノ解決ニ讓ルコトニナツテ居リマス、是ハ列國共ニ解決シナケレバナラヌ、實際問題トシテハ餘程之ヲ實際化スルト云フコトガ非常ニ困難ナ問題デアリマス

○佐々木委員 國ト國トノ場合ハ、加害者ト被害者トノ間ニ双方差引ガ立ツカモ知レマセウガ、被害者ト反對ノ加害者トノ程度ガ同一デナイトシマス、國ト國トノ間ノ差引ハ出來マスガ、被害者ハ非常ニ迷惑ヲ被ルト思ヒマス、サウシテ被害者ハ被害ヲ受ケタ國カラハ之ヲ加害者ト見マセウ、サウ云フ風デ差引サレルト云フコトハ、其處ニ内部的ニ非常ニ迷惑ヲ感ズルコトニ

ナリマスガ、是等ニ對シテ特ニ深甚ナル御同情ヲ拂ッテ戴キタイト思ヒマス

○山川政府委員 個人ガ外國ニ於テ或種ノ損害ヲ受ケタ場合ニハ、其國ニ於テ損害賠償ヲ受ケ得ル場合ガアルノデアリマス、サウ云フ手段ヲ盡シテ、其對手國ノ方デ必要ナル方法ヲ與ヘナカッタトカ、或ハ惡意ヲ以テ色ミヤッタト云フ場合ニ於テハ、國ト國トノ場合ニナツテ參リマスガ、大體ハ個人ガ向フデ出來得ル手段ヲ取ッテ救済ヲ求メルト云フコトガ原則デアリマス、日露ノ關係ニ於テモ純理カラ言ヘバ、サウ云フ議論モ立チマスガ、是等ノ問題ハ政府トシテハ何處迄ドウ云フ風ニスル、個人ノ受ケタ損害ヲ必ズ露國カラ取ッテヤラウト云フ問題ニマデハ觸レテ居ナイノデアリマス、ソレデ將來ノ問題ニ付テ、日露間ニ今ノヤウナ約束ハシテ居リマスガ、今直ニ個人ニ對シテドウスルト云フコトハ、此處デ申上ゲ兼ねマス

〔速記中止〕

○田中委員長 是ヨリ速記ヲ始メマス

○金光委員 私人モ少シ御尋シタイコトモゴザイマスガ、只今橋本君カラ御尋ニナリマシタ材料ノ御提出等ノコトモゴザイマスルシ、尙ホ私人方ハ實ヲ申シマスレバ黨ノ方モマダ議ガ極ッテ居リマセウノデ、兎ニ角質問ハ本日ハ此程度ニ止メテ、二十三日ニ御繼續ヲ願ヒタイ存ジマスガ……

○山口委員 一寸速記ヲ……

○田中委員長 速記ヲ中止シマス

〔速記中止〕

○田中委員長 ソレデハ暫ク休憩致シマス

午後四時一分休憩

午後五時二十九分開議

○田中委員長 ソレデハ開會致シマス、理事ノ來栖七郎君ノ補闕トシテ高木音藏君ガ理事ニ指名致シマシタ會議ニ付スベキ議案救恤法、即チ賠償法ヲ先ヅ決定致シタイ思ヒマス、御意見ガアレバ……

○永田委員 大體質問モ終了シタヤウデアリマスカラ、直ニ討論ニ移ランコトヲ希望致シマス

○田中委員長 質問ハ是デ打切ッテ討論ニ入リマス、御意見ヲ承リマス

○永田委員 本案ハ對獨戦争ニ依ッテ受ケマシタル、邦人ノ被害ニ對シマシテ今同幸ヒ財源ヲ得テ、之ニ相當ノ救恤ヲ貰フト云フコトデアリマス、洵ニ當ヲ得タ案ト思ヒマスガ、唯「ドーズ」案ノ如キモ未ダ其緒ニ著イタバカリデアリマシテ、今後ニ於キマシテ相當ナ收入ガアルカモ知レヌト云フ豫想モ付イテ居ルヤウナ模様デアリマシテ、本案ノ通過ニ異議ハアリマセウ、此際更ニ將來ニ於キマス「ドーズ」案ノ解決ニ依ッテ得ル所ノ收入ガアルナラバ、ソレニ對シテ多少ノ期待ヲ有ッテ居ルモノ

デアリマス、故ニ原案ヲ承認スルト共ニ、茲ニ一ツノ附帶決議ヲ付ケテ置キタイト思ヒマス、其案ヲ朗讀致シマス、附帶決議「政府ハ『ドーズ』案實施後相當期間ノ經過ニ鑑ミ獨逸國ヨリ收得スル賠償金ノ處理ニ關シ被害者ニ對スル追加支出ニ付キ相當考慮ヲナスヲ當然ト認ム」皆サンノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス、尙之ニ付キマシテ政府ニ於テ此際御聲明ヲ下サイマスマナラバ、一層仕合デアルト思ッテ居リマス

○山口委員 私モ原案ノ通過ニ賛成致シマス、其理由ハ只今永田君ガ御述ベニナツタ通りデアリマシテ、ソレ以上ニ附加スル必要ヲ認メマセス、唯、永田君ヨリ御説明ニナリマシタ附帶決議ニ付テハ誠ニ私共同感デゴザイマス、故ニ此附帶決議ニ對シマシテ併セテ賛成ノ意ヲ表シマス、切ニ原案ノ成立スルコトハ希フ次第デアリマス

○佐々木委員 私ハ本案ノ内容ニ付テ、政府當局ノ質疑應答ニ依ッテ認メマシタ所ニ依ルト「ドーズ」案ノ如キ漸ク唯、出來タダケデアッテ、果シテ其案ニ依ッテ獨逸ガ將來支拂ヲ爲スカ否ヤ、ソレ斯拉モ分ラナイ間ニ於テ制定サレタ所ノ案デアリマス、即チ入ルカ入ラヌカ分ラナイ、取ツタモノヲ以テ救恤シテヤラウ、名ハ救恤デアルケレドモ實際ハ賠償金デアリマス、ソレデアリマスカラ極メテ不完全ダト今デモ信ジテ居リマス、併ナガラ今附帶條件トシテ今

後取レル場合ニ於テ、政府ハ考慮スル、マダ政府ノ御意見ハ承リマセヌケレドモ、果シテ政府ガ將來取ツタ場合ニ於テハ此法律ニ依ッテ、五百萬圓ダケヲ救恤スルノデナイ、將來取リ次第ニ此損害ヲ受ケタ所ノ人ニ對シテ更ニ十分ノ同情ヲシテヤル、斯ウ云フ政府ノ御意見デアリマスマナラバ、已ムヲ得ズ私ハ賛成致シマス、ソレデ此際政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○永井政府委員 政府トシマシテハ此度提出致シマシタ救恤案ニ付テ、諸君ガ熱心ニ御審議下スツテ、之ニ賛成ノ意ヲ表セラレマシタコトヲ甚ダ幸ニ存ジマス、ソレト同時ニ只今動議トシテ提出サレタ附帶決議ニ對シマシテ、諸君ノ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第八編第一款第一附屬書ニ掲ゲラレテ居リマス、損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對スル救恤ニ付キマシテハ、今回ノ法律案ニ定メラレタモノ、外今後數年間「ドーズ」計畫施行ノ實績ヲ見マシタ上、更ニ考慮ヲ加ヘルコトト致シタイト思ヒマス

○永田委員 政府ノ聲明ヲ承リマシテ、誠ニ安心ヲ致シマシタ、速ニ本案ヲ可決サレンコトヲ希望致シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○田中委員長 御異議ナイヤウデアリマス、採決ヲ致シマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○田中委員長 全會一致可決セラレマシタ、次ニ賠償金特別會計法廢止法律案、之ヲ議題ト致シマス

○永田委員 本案ハ前ニ可決致シマシタ救恤金ト相關聯スル所ノ法律案デアリマス、故ニ既ニ此實體タル所ノ前案ガ可決セラレマシタ以上ハ、本案ニ賛成スルコトハ當然ト思ヒマス、直ニ可決確定サレムコトヲ望ミマス

○田中委員長 然ラバ採決ヲ致シマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○田中委員長 滿場一致可決セラレマシタ、是ニテ散會致シマス

午後五時四十一分散會

